

No. 48

2001

2月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
富田隆仁
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

『夕映え道路』

下市田区民会館前の道、愛称決まる



はるか西の空、松岡城趾の肩越しに真赤な太陽が沈もうとする時、下市田中段から見上げる空は、見事な色に染まります。

とりわけ、区民会館前から南へと向かう新設の道路にとって、此の時間帯の風景は、最も美しい一枚の絵を思わせてくれる刻となるのです。

先頃、下市田区で実施した此の道路（正確には農道四七二号線）への愛称募集により、多数の応募名の中から、「夕映え道路」が選ばれました。

以前開通した、出砂原から二区へ通じている「朝霧道路」（町道一〇三号線）と共に、下市田をイメージさせる道路名として、地域の皆さんに愛され、定着していくことでしょう。

学校帰りの子供たちが、自分の影を長く伸ばしながら、ランドセルをならして元気よくかけて行く道。一日の作業を終えた人々が、家路を急ぐ道。この「夕映え道路」が事故のない安全な道として、更にまた、未来への発展へつながる道となることを願うものです。

（関連記事は7ページ）

区の情勢について

区長 富田 隆 仁

平成十三年の新春、二十世紀の幕明けを迎えおめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

昨年迄の二十世紀は、明治三十四年（一九〇一）年より百年の歳月であり、前半は戦争の明け暮れでした。昭和二十年に戦いに敗れ、戦災復興に立ち上がり国民は懸命な努力の中で今日の日本の地位、町・区の地位を築いて参りました。又その反面経済発展を重視、負の部分が大消費、大量汚染として私達の住む地球は環境汚染と云う厳しい現実となりました。明けて二十一世紀は十二支巳年であります。蛇は絶食にも耐える冬眠と云う習性をもつ動物であり、省エネのチャンピオンと言われております。大量消費の前世から巳年省エネの幕開けが何を意味するか、環境元年と言われる世紀のスタートに省エネのチャンピオン到来、大量汚染からの脱却にこの偶然を生かそうではありませんか。年頭に決意を致しました。

前年は、下市田区内のいくつかの要望が具体化された年でありました。下市田へ郵便局を欲しいと云う強い念願で、平成七区内の署名四千余人余をとり信越郵政局へ陳情をして参りました。六年の時を要しましたが具体化の運びになりました。町当局を始め特定局局長会の方の協力を頂き、国会議員の先生の力強い応援の中で本年七月頃開局をメドに作業が進んでおります。協力頂きました方々に心から御礼を申し上げます。又下市田駅前交差点へ信号機設置の強い要望につきましても、町当局、県議会の方々の協力を頂き二ヶ年余を要しましたが具体的な力となり、地権者の方々の協力を頂き作業が進行致しております。天竜社跡地へ福祉施設設置の要望も署名を行い陳情致しました。町当局の御理解により、福祉複合施設として昨年十二月入札の結果十三億余で決定し、本年一月三十日安全祈願祭が現地で行われました。振り返りますと平成十二年は様々な事が具体化された年であったと思います。区民皆様のご多幸を祈念しつつ筆を置きます。

下市田区民会館利用状況

副区長 塩 沢 学

月別	時 間				利用 目的	事務室	1-1 号室	1-2 号室	1-3 号室	調理室	2-1・2 号室	2-3 号室	2-4 号室	秋の間	大 ホ-ル	計
	8時～ 12時	1時～ 5時	6時～ 10時	計												
1	9	11	30	50	47	3	7	7	17	2	4	7	7	0	11	65
2	15	20	36	71	64	2	22	15	25	2	7	7	10	3	18	111
3	17	23	34	74	59	3	31	26	35	6	5	5	11	4	27	153
4	12	23	36	71	61	1	15	16	24	3	4	6	12	2	16	99
5	11	12	40	63	59	0	17	8	17	1	7	8	9	0	16	83
6	12	12	37	61	54	0	16	14	18	0	7	4	6	2	19	86
7	11	19	29	59	52	1	18	14	20	7	4	9	13	6	18	110
8	9	9	26	44	39	0	12	6	11	1	5	3	7	1	11	57
9	13	15	34	62	57	1	16	10	16	1	6	6	6	3	20	85
10	15	17	43	75	66	1	14	8	18	4	13	7	13	5	25	108
11	10	16	30	56	51	0	17	11	16	3	5	6	6	5	15	84
12	16	11	33	60	55	1	13	11	22	2	4	3	7	2	14	79
合計	150	188	408	746	664	13	198	146	239	32	71	71	107	33	210	1,120

平成十二年一月一日から十二月三十一日まで一年間の区民会館利用状況を報告します。

一、利用目的の件数
年六百六十四件となり、一番太鼓練習の五十七件、二番読書会の五十五件、三番委員会の五十件、四番は同伴でソフトバレー、役員会の四十二件となりました。月平均五十五件となり、多い月は十月の六十六件で、少ない月は八月の三十九件となりました。

二、利用時間の回数
日平均一・八件となりました。年七百四十六回となり、午前中が百五十回、午後五時までは百八十八回、午後十時までは四百八回で最も多い回数でした。年千二百一十回となり、一番一三号室の二百三十九回、二番大ホールの二百一十回、三番一八号室の百九十八回となりました。

区民の皆さん
ぜひ、ご利用
ください。

委員会活動報告

消防委員長 中村 敏彦

区民の皆様には日頃消防活動につきましまして、ご理解ご協力を頂きまして、大変ありがとうございます。消防委員会活動について、活動報告と区内の状況を報告致します。

今回予定しておりました四月の堤の見回り、中小河川の見回り、区内水利状況の確認を、七月二十三日日曜日に行いました。各中小河川、巡礼沢の川、長司ヶ洞の川、間ヶ沢堤、新堤、ひょうたん堤の五ヶ所を重点に見回りまして、特に長司ヶ洞の井水がゴミ等がありまして、危険であったので取り除いておきました。

十一月三日には下市田放水訓練を行い、今回は消防車による放水訓練、消火栓による訓練を行いました。春先は空気が乾燥して、火災の発生も多発しています。くれぐれも、下市田区より火災を出さない様にお願いします。

万が一災害が発生した場合、下流の民家に被害を及ぼす恐れがあります。消防委員会では、昭和三十六年の伊那谷を襲った集中豪雨を教訓に、委員が各人持ち場を当たりまして、災害にならない様つとめて区内を巡回しております。特に六月・七月の雨期が危険だと思えます。八月には各区に於ける消火栓の点検を行い、ホースの破損等によ

よる交換も四月（八月まで）に各区の要請に合わせ実施しております。消火栓については、



公民館役員の選出方法 下市田支館の組織が変わる

高森町の公民館活動の長い歴史の中で、下市田は全体が一つの分館として位置づけられ、町全体の活動の中でも大きな役割を果たし、又、下市田ではこれを分館と言わず、下市田公民館として独自の事業も多く行い、区民のコミュニティ活動の柱として大きな役割を果たして来た。

そうした中で平成十年度に町の公民館組織が変わり、それに伴って下市田全体を支館、各区(部落)を分館とすることになった。これを契機に下市田の分館長・主事会・部員会、又その他の会議等の中から、公民館の組織や事業のあり方について、意見・要望が出され、特に「各部落が分館として独立し、本館の事業が分館と直結して行われるようになれば支館(下市田公民館)はいらないのではないか」という意見も聞かれるようになった。

そこでこれらの問題を総合的に研究し、将来への方向づけをすることは非常に重要なことであると考え、

平成十二年五月、区内の関係者による「下市田公民館研究委員会(委員名簿は八ページに掲載)」を発足し、次のような点について延べ五回に亘り委員会を開催し、研究が行われた。

(一) 下市田支館の位置づけ
(二) 下市田支館の事業内容
(三) 役員組織と選出方法
(四) 公民館図書への対応
(五) 分館長・分館主事の位置づけ、その他

この研究委員会の経過と内容を十月末に報告書の形でまとめ、十一月の代議員会に報告し、了承された。その内容については、各部落長さん、分館長さんからの報告等でご承知の方も多いと思いますが、ポイントになることをいくつか上げますと、前記(一)、(二)の件については、下市田支館の事業は本館や分館の事業との重複を避け、多く行う必要はない、下市田公民館の伝統を踏まえ、下市田全体で行うことが成果が上がると思われる事業「地元町議との懇談会、萩の里祭り、文化祭り敬老会(軽スポー

ツを含む)、区報(館報)の発行など」を各分館との連携のもとに行い、下市田の伝統と風土を守り、時代の要請に応える活動を行うのが下市田支館であるとの方向づけがなされた。

(三)の件については、役員の総数には変更はないが、選出の方法が本館部員は各分館から六名(体育部二名、教養、図書、編集、視聴覚各部は一名)を直接選出し、支館部員は別に各分館から(二〇〇戸以上の分館は四名、二〇〇戸未満の分館は三名)選出し、本館と支館は兼務しないことになりました。従って支館部員は二十名となりますので、今迄のように各部を置かず全員が一つになって総ての事業を行うことになりました。

前記(四)、(五)の件については紙面の都合により割愛します。

これらの研究結果をもとに下市田支館の館則の全面的な見直しを行い、十二月上旬公民館運営委員会、代議員会の議を経て新館則ができ、昨年暮各ご家庭に配布したところであります。ご理解の上、ご協力くださるようお願いいたします。

文責・木下 豊

高森町公民館下市田支館館則

字句は変わっても、内容の変わらない条項は省略 第1条(名称及び事務所)、第2条(組織)、第4条(分館の設置)、第7条(任期)、第11条(経費)、第12条(会計監査)、第13条(会計年度)

(目 的)

第3条 この支館は、区民の健康増進と文化の向上を図り、生活環境の改善、社会福祉、コミュニティの推進など、地域づくりに寄与することを目的とする。

(役 員)

第5条 支館には次の役員をおく。

- (1) 支館長・副支館長・支館主事 各1名
- (2) 分館長 6名・分館主事 6名
- (3) 支館部員 若干名(20名)(本館は兼務しない。)
- (4) 分館長主事会長、担当部長 各1名
- (5) 担当副部長 1～2名

(選 出)

第6条 支館の役員は次の方法により選出する。

- (1) 支館長・副支館長・支館主事は、各戸1票による区民の一般選挙による。
- (2) 分館長・分館主事は各分館より選出する。分館長主事会長は、分館長・分館主事の互選による。
- (3) 支館部員は200戸以上の分館は各区4名、200戸未満の分館は各区3名を、男女案分して選出する。ただし、必要あるときは、支館長が他の者を委嘱することができる。正副担当部長は部員の互選による。

(役員の仕事)

第8条 支館役員の仕事は次のとおりとする。

- (1) 支館長は支館を代表し、支館の事業運営のための必要な事項を行う。
- (2) 副支館長は支館長を補佐し、支館長事故あるときは職務を代行する。また、支館主事の業務の一部を担当する。

- (3) 支館主事は支館長と協議し、会議・事業執行・会計等の事務処理および条件整備に当たる。
- (4) 分館長・分館主事は、各分館事業の企画運営に当たると共に、支館事業の企画推進に参画し、分館との連携を密にして、成果の向上を図る。
- (5) 担当部長は支館長と協議し、各事業の基本事項について立案する。
- (6) 部員は、全員が支館の目的に沿って、事業の企画、推進に当たる。

(支館の会議)

第9条 支館の会議は、運営委員会・分館長主事会・部員会・関係代表者会とし、必要に応じて支館長が招集する。なお、必要あるときは、他の会議等を設置することができる。その委員は支館長が委嘱する。

(会議の構成と任務)

第10条 支館の会議の構成および任務は次のとおりとする。

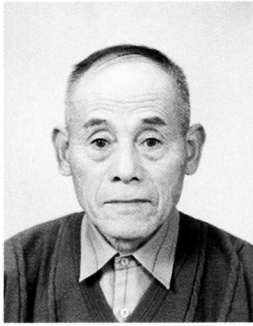
- (1) 支館三役は区代議員会に出席し、支館の事業計画・予算・決算・館則の改訂・その他重要事項の提案ならびに報告を行い、承認を得る。また、意見を具申することができる。
- (2) 運営委員会は区三役・正副代議員会長・部落長・支館三役・分館長・分館主事・担当正副部長で構成し、事業運営について協議する。
- (3) 分館長主事会は分館長・分館主事・支館三役で構成し、本館・支館・分館事業の調整および連携等につき協議する。
- (4) 部員会は部員により構成し、事業の遂行について協議する。
- (5) 関係代表者会は、支館事業の実施について、区内の組織・団体・グループ・その他の代表者を招集し、具体的に協議して、各関係への伝達を図る。

(館則の改訂)

第14条 この館則の改訂は運営委員会において協議し、代議員会に付し、承認を得るものとする。

附 則 (一部省略)

平成12年12月8日改訂 平成13年4月1日施行



親はパソコン、子はテレビゲーム。画面を見つめてカチカチこれで用がたせるハイテク機、且って未来人類の体形はフクスケ体形にな

前世紀から始まった、コンピュータの発達。国を挙げてのIT革命。次から次へと出て来る新機種、名前は覚えるが、今の私にはお手上げ。

それが今や一年で変わる急テンポ。スロー時代の老人が此の中に居るのだから、たった物ではない。



雄達田池区四

二十一世紀の幕明けでおめでとうございます。已年六回目を迎えた年男。大戦後五十七年戦争のない二十世紀後半、今世紀も平和である事を願う処です。十年一昔と言われた時代を生きて来た人間、それが今や一年で変わる急テンポ。スロー時代の老人が此の中に居るのだから、たった物ではない。

私の部落長時代には、四区内の常会対抗の野球大会が定番でした

が自然消滅、今町の早起き野球も数チームとか、随分

の変化、これもITのなせる業かな。

仕事一筋の百姓人間、これではと古希

を契機に軽スポーツ、マレット(町の体協

会員加入)にゲートボール、

夏場少しばかりのハウストマトを取りながら、週三回五時半からの

朝稽古、球に向かって静止の緊張感、打球を見つめて

一喜一憂、調和のとれたスポーツ。

昭和一粒の皆さん、この軽スポーツを始めませんか。

バイクにスティックを乗せて南部広場へ...

Let's GO!

21世紀を迎えて 已年生まれの方々に



三 区 関 島 純 子

今年六十歳になる私も、孫を持つ身になりました。子供を育てた時は、世の中のために人になつてほしいと思いましたが、孫には、地球のために

なる人に育ってほしいと、願わずにはいられないこの頃の状態です。

江戸の町が百万人都市となった頃、ごみの問題はやはり大きな課題であつたようです。

悪臭を放って大さわぎになつた頃、ごみの問題はやはり大きな課題であつたようです。

悪臭を放って大さわぎになつた頃、ごみの問題はやはり大きな課題であつたようです。

悪臭を放って大さわぎになつた頃、ごみの問題はやはり大きな課題であつたようです。

悪臭を放って大さわぎになつた頃、ごみの問題はやはり大きな課題であつたようです。



六 区 野 神 智 治

まず、世紀を跨いで自分がここに居ること、年男で新世紀を迎えられたこと、感謝すべき事だと思つています。かと云つて、特別なお正月を迎えた訳でもないのですが、新年の花火の音を聞きながら(本来なら除夜の鐘ですが)横で寝ている娘達の寝顔に静かな幸せを感じました。

その娘に今年の抱負を聞いてみると、小学校に上がる長女は「お友だちがいっ

いなかと違って、長屋などにはごみを自然にかえす場所を作った指定の場所の中に捨てられたそうです。

職業として回収し舟まで運ぶ人、ごみを舟で運んで捨てる人や業者があつて、利権争いあり不法投棄ありで、奉行所も頭を悩ますことがあつたらしい。指定の柵の外に棄てられた大量のごみが、岸辺にうちあげられて悪臭を放って大さわぎになつた頃、ごみの問題はやはり大きな課題であつたようです。

悪臭を放って大さわぎになつた頃、ごみの問題はやはり大きな課題であつたようです。

悪臭を放って大さわぎになつた頃、ごみの問題はやはり大きな課題であつたようです。



ひきつがれた——「ごみ戦争」。

IT革命が、各家庭でテレビのボタンを押すように簡単に近くの商店の広告を見ることが出来るようになったら、毎日ドサーッと、届けられる広告宣伝紙も少なくなつて、ジャングルの木もいたずらに切られなくなつて、異常な天候も正常に戻るのでしょうか?

そんなことをブツブツ考えながら、とりあえず買い物袋を忘れないよう心掛ける私です。

確かに、この頃子ども達

は、ビデオばかり見ている。私は横で寝ていられる。これではいけないとわかつて

いる。でも、お父さんだって毎日お仕事してるから、休みの日は、ずっと寝ていたい。ゆっくりしたい。

そんな時、ビデオが切れて、ニュースが流れる。一家四人殺害・六年生が中三の子を刺す・医師の弛緩剤

投与殺害・赤ちゃん連れ去り事件：戦後まもない日本人、誰もが夢見た素晴らし

い二十一世紀の幕明けは、なんて残酷なのだろう。こうなる日本を予想していた人もいる。一体、何が

起き上がる。二十一世紀、平和な家庭、子ども達のために、お父さんにできることを考えていこう。

「うーん」と伸びをして

起き上がる。二十一世紀、平和な家庭、子ども達のために、お父さんにできることを考えていこう。

起き上がる。二十一世紀、平和な家庭、子ども達のために、お父さんにできることを考えていこう。

起き上がる。二十一世紀、平和な家庭、子ども達のために、お父さんにできることを考えていこう。

起き上がる。二十一世紀、平和な家庭、子ども達のために、お父さんにできることを考えていこう。

起き上がる。二十一世紀、平和な家庭、子ども達のために、お父さんにできることを考えていこう。

起き上がる。二十一世紀、平和な家庭、子ども達のために、お父さんにできることを考えていこう。

起き上がる。二十一世紀、平和な家庭、子ども達のために、お父さんにできることを考えていこう。



ふるさと祭り テント村から

項であつたお
しるこを盛る
容器を発泡ス
チロールのも

十一月十一、十二日の両日、下市田区では高森町ふるさと祭りテント村に、恒例のおしるこの無料サービスを行いました。このおしるこ店は、以前は芸能保存会が担当しておりましたが、その後、コミュニティ推進委員、各分館の分館長主事、婦人ふるさと役員の方々を中心となつて行方となり、それぞれが時間を区切つて分担しました。史談会の展示は、昨年までおしるこ店と隣り合っていました。今回から屋内の文化祭会場の方へ場所を移しました。幸い、まずまずのお天気にも恵まれ、無料のおしるこ店ということもあって、開店するとどんどんお客様が来られ、二日間で千八百人分のおしるこは盛況のうちで終了しました。

また、テント村への史談会の資料展示が、あの環境と雰囲気の中では見学者も少なく、折角の展示も成果が上らないということで、本年度は下市田ではおしるこ



店のみ出店しましたが、今後に向けて下市田ならではの出店アイデアをお寄せ下さい。

文責・北林

区民会館の大掃除

宮下 幹雄

大ホール、備品室、廊下、トイレ、ステージ、ごさ拭き。視聴覚部一F備

昨年末十一月十八日、下市田区民会館の大掃除が支

館三役、分館長、同主事、支館部員で、毎年決められた分担表に基づき手際よく進められ、一年間お世話になった我々の大切な区民会館に、感謝する事が出来た。掃除分担は次の通り。分館長・主事一外回り倉庫。教養部一F一三、調理室、玄関ロビー。図書部一図書室、二F全体。体育部一

図書室、二F全体。体育部一

快調！ 図書貸出し

図書部長 松澤 重利

最近の情報社会では、生活の中心がインターネット・パソコン等に移っている為か、自ら進んで図書を利用しようとする人が少なくなつて来ています。

毎月一回の図書当番で公民館に居てもほとんど借りに来る人はいません。このような状態の中で今後どうしたら良いか図書部員・公民館三役の方と話し合いました。

対応。各分館長同主事の位置づけ、以上の結果支館館則も変更等に伴い改訂されたことが報告された。

研究委員は次の通り。

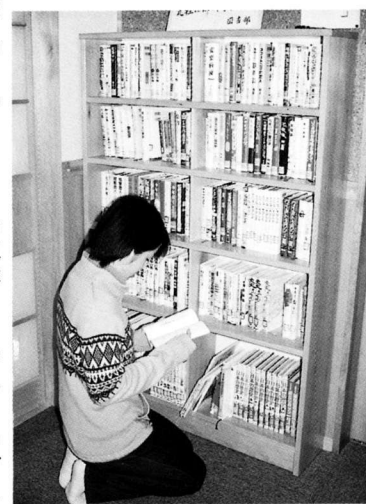
一、下市田区三役。一、部落長、自治会長。一、分館長。一、コミュニティ推進委員。一、元下市田公民館館長、主事、教養部長。一、現支館三役、部長。

「懇親会」参加者全員で忘年会が開かれ、分館主事の高山さんが、手作りのそばを振舞ってくれ、日頃の苦勞など楽しく語り合い終了した。

「公民館に

図書があることを知らないのではないか」「ロビーで休憩をする時、近くに本があれば多くの人が借りてもらえるかもしれない」と意見が出されました。新しい試みとして今までの図書室とロビーに二ヶ所（本棚新設置）計三ヶ所で本を借りる事ができるようになりました。初めの頃は、多くの人が借りてくれるか不安でしたが、日が経つにつれ本棚の前で立ち読みをする人、床に座って見る人が一人、二人と増えて来ました。当初の不安は、嘘のようでした。

従来と今回の貸出し状況を比べてみると従来（二〇〇〇年一月～八月までの七ヶ月間）は、借りた人二十人、本の冊数三十九冊、今回（二〇〇〇年九月～十二月までの三ヶ月間）は、借りた人三十二人、本の冊数五十一冊でした。三ヶ月間にこんなに多くの方にたくさん借りて頂き、大変うれしく思います。四ヶ月程過ぎた今でも、小さな子供か



区報への投稿呼びかけ

区報では、年三回の発行により、区の情報・委員会の動き・行事・皆さんの活動状況等のお知らせをしています。今後もよりよい地域づくりに役立つ区報としての在り方を、探って参りたいと考えています。

「こんな記事の掲載は」とか「区・公民館行事に思うこと」「隣組と独立世帯への考え方」など、地域づくりへの建設的なご意見を区報へお寄せ下さい。

ようこそ下市田へ

二区 林 サト子

ごしたものです。今は自分の家の真正面で花火が上がり、尚一層楽しませてくれ

早いもので、高森町にお話になって約三十年になります。以前は吉田に住んでいましたが、結婚二十五年目の夏に下市田に念願の家を持つ事が出来、五年余になります。

私は向かい側の豊丘村で生まれ育ちましたが、子供の頃は出砂原と言えば商店が建ち並び、オーバーかも知れませんがちょっとした都会のような感覚で見えておりました。特に夏に開催される灯籠流しは特別大きな催しのない当時の事、私にとっては唯一の楽しみで、通称伴野公園の堤防で二十人余りの老若男女がお菓子等を食べ乍ら川の流れに浮き沈みする灯籠と、夜空に大きく広がる花火に歓声を上げ賑やかな夜の一時を過



行く情景は何とも言いようのない安らぎを憶えます。この自然がこれ以上壊されず、いつまでも護られて行くことを願っています。
・本欄は都合により「ようこそ下市田へ」に変えさせていただきます。

水中運動教室に参加して

五区 伊奈川 京子

も持ち上げられない。何とかしなければと考えていた矢先、水中運動教室の募集があったので入れてもらった。泳げなくても大丈夫かの念押しはしておいた。家では水に入ることが怖くないのかと呆れられる。水着姿が恥ずかしいことなど気にしてはいられない。全く泳げないのでちょっとは心配。とにかく仕事も介護も自分の体調を整えることが第一。身体チェックをして教室は始まった。初めてプールに入る。温水とはいえ冷たい。肩まで沈めて歩くと足の裏がびったり底につきに

「あつ、二番目はお前さんだよ。」と平成十三年町のカレンダーを見て言う。「うそだ、判りっこ。」それでも気になるので見ると、水中運動教室の写真に写っている。

一昨年頃から腰の調子が悪く、腰を伸ばして歩けない。百歳まで生きるという千春ばあさんの介護も苦痛だ。梨を入れたコンテナ

随想

二十世紀の思い出

四区 中塚 昭美

皆さんは、どんな思い出がありますか。あの恐ろしい戦争。「ほしがりません勝つまでは」の合い言葉。食べ物はなく毎日が勤労奉仕。勉強等一切出来ない時代。間もなく敗戦となり益々生活は苦しくなってきた。

教育制度も六三三制となり新制中学となった。生活も日が経つと共に落ちて来た。来た矢先、空を真赤に染め

皆さんは、どんな思い出がありますか。あの恐ろしい戦争。「ほしがりません勝つまでは」の合い言葉。食べ物はなく毎日が勤労奉仕。勉強等一切出来ない時代。間もなく敗戦となり益々生活は苦しくなってきた。



長い人生を考えたら、週に一時間位どうにでもなる。自分の体調を整え維持することが大切だ。誰もが利用し易い健康づくりの施設が近い所にほしいと思う。運動を続けて、いつかは泳げるようになりたいと思っている。

の露天風呂はドラム缶風呂。大釜の五衛門風呂、蓋が二枚あり二枚共に外して入り足の裏をやけどをする。小判型の桶のヘソ風呂、間違えて栓を抜いて大失敗。一寸ぜいたくなタイル風呂等と色々な風呂。今日では全くと色々な風呂。今日では全く見当たりませんね。当時火事の原因はほとんど風呂の煙突の加熱、火の不始末であった。又子供の仕事は決まって風呂の水汲み、近くの川の水を運んで風呂に入

スポーツ少年団

小四 遠山浩平 (三区)

「走ってこいっ。」

コーチのきびしい声がひびく。ぼくはスポ少のサッカーに入っている。朝七時、九時まで中学のグラウンドで練習している。

ぼくは、今まで友だちは、たくさんいたけど、スポ少に入ったらさらに友だちができた。とくにみぶ君は、走っている時に、「がんばれよ、おくれるなよ。」と、声をかけてくれる。

練習する時

時どきペアー

を組んでやる

時がある。そ

の時もみぶ君といっしょ、

ほかにも仲よくしている人

はたくさんいる。ようた君、

しげき君、ゆうき君、この

四人は仲よし四人組と言わ

れるほど仲のいい四人。そ

してこの四人の目標は、イ

ンステップでシュートする

ことです。

さらにゴールキーパーは

先生です。

何回もやってるんだけど、

今年の目標

中二 堀田陽子 (二区)

わたしは学校生活の中で、がんばっていること、楽しいことが一つずつあります。

がんばっていることは部活動です。わたしは今、女子テニス部に入っています。

わたしは学校生活の中でもあったりするけど、その分体力もつくし上手にもなれます。たくさん練習をして大会に練習の成果を出せるようにしています。そして、その大会が十一月ごろにありました。相手は中学一年と二年で、最初は勝っていたんだ

けど、だんだん追い抜かれて三対一で負けてしまいました。

でも、前は三対〇で一点も取れずに負けていたので、一点取

れただけでもよかった。

練習はきびしいときもあるし、休みの日も負けたのはくやし

いから、今年は去年以上に練習をがんばり、大会で勝てるようにしたいです。

次に、楽しいことは友達とのお話です。休み時間などに友達と好きな話をした

り、勉強を教え合ったりするのはとても楽しいです。

そういう友達と遊べる休み時間は楽しいけど、勉強している授業は楽しくありません。むずかしくて、わからない所もあるし、わかっていても、なかなか発言ができません。なので、もっ



らせるインサイドゴールです。そしてもっともむずかしいカーブゴールです。カーブゴールは、足の親指でけるやり方です。そしてそのぎゃくの小指でけるやり方もあります。ぼくは、この前の試合で、キーパーをやりました。

ぼくの次の目標はゴールキーパーで、もっとかくじつにボールをとれるようになることです。これからはスポ少をがんばりたいです。

一回も入りません。だから毎週のスポ少の時、かなり練習しています。インステップゴール、近くか

『夕映え道路』に決まる

―農道四七二号線の愛称―
(農道幹線一号线)

平成六年から九年にかけて完成した土地改良事業による区民会館から南大島川までの道路整備が行われた。下市田区では、この道路が区民から親しみや愛着の持てるようにと愛称を募集した。

募集期間は十一月

応募名数は三九点

十二月の代議員会で選考

の結果、「夕映え道路」と

決定した。

栄えある入選者は、

上沼俊彦さん(三区)

木下すみ子さん(三区)

服部満子さん(四区)

どんな愛称が応募されたか興味があるので紹介する。

採用された夕映え道路は、

この地帯から見える夕焼け

が美しいのでこの名前が生

まれたようである。似た名

前に、夕映えの道・夕焼け

と授業が楽しくできるよう

にしたいです。

私の今年の目標は、部活

をがんばること、授業を

楽しく受けることです。

そのほか多かったものは、萩の里を冠した名前であった。萩の里道、道路、街道、農道、ライン、更に南部を冠して南部萩の里線、ロード等があった。また、萩山、萩だけを冠したのもあった。

富本・柿を冠したもの、ムード的なほのぼの、かけはし、ハッピーなどもあった。ユニークな「さしご農道」は、三・四・五区を通じているので「さしご」とのことである。

愛称のある道路は、市田駅前から線路沿いを国道に通じている朝霧道路がある。それに対して夕映え道路とは偶然とはいえおもしろい結果となった。この愛称が、永く親しみ愛されることを願うものである。

(文責・大屋敷清利)

わたしの作文。ぼくの作文



グループ紹介

ダサラ婦人の会

六区 北林洋子

従来の婦人ランティア的活動を柱に据会の終局に直え、月に一度の月例会で相互の親睦を図り、たのしみもいつつも、その実生のごとの年間に基づき、五月は雑巾縫い。(出来た物は各所に配布) 六月は梅雨の晴れ間に、親水公園でマレットゴルフをたのしみ、心と身体をほぐすことができました。七月は萩の里まつり、八月は灯籠流し、夏祭りにそれぞれ参加協力。九月は夏祭りの反省会にぎやかた。

まず、足もとを見つめ、誰もが気軽に参加できるボ



な折ボーチや小銭入れが出来あがりしました。十一月には地区館のスリッパ洗いと座ぶとんカバーの洗濯、十二月は正月用のお花を松下先生に教えていただき、縁起ものの万年青を格調高く活け込むことができました。また、その都度お茶を飲みながら、介護保険の実情や老人施設の建設状況等いろいろな情報を得ることもできました。日ごとに複雑になっている生活環境ですが、女性が明るければ地域も明るいか……。

今後とも和やかな会でありたいと思います。

地域の紹介

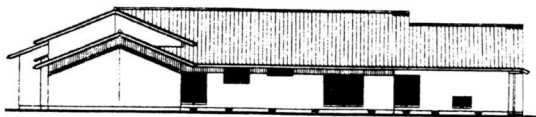
最近の一区の動き

一区副部落長 滝 好博

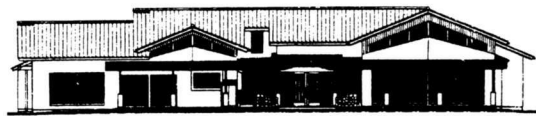
下市田一区は現在十九の常会、隣組数三十八、世帯数三百二十四世帯よりなり之に独立世帯(アパート、寮等を含める)を併せ約四百世帯に達します。アパート、分譲住宅等の申請が多く今後増加の傾向にあり、他の地区に比し大変大世帯になります。

何分にも一区は大世帯で広範囲ですので、道路問題、水利の問題、安全施設の問題等数多くの問題を抱えております。その一つに独立世帯の解消問題があります。常会への加入、又常会新設への働きかけをして参り道路維持、河川清掃、ゴミの分別収集等又区で行う各イベント等を通じ近隣の方々の交流を図り、協力して生活環境を高めて参りたいと思っております。より良い一区を築き上

一区上段会所完成予想図



西側立面図



東側立面図

公民館のあり方等
研究いただいた
下市田公民館
研究委員の皆さん

▽区三役(富田隆仁、塩沢学、大沢操)▽部落長(上沼啓孝、小池正春、仲平清玉置俊通、小川真澄、大屋敷清利)▽学識経験者(原次郎、北原洲平、松岡修一、伊奈川京子、池田政子)▽分館長(石原宏一、上沼輝実、原勝夫、竹村征夫、久保田利明、栗沢宗重)▽支館三役(木下豊、小宮山佳子、北林倫子)▽支館部長(宮下幹雄、加藤茂美、松沢重利、古木英男)

教養講座(講習会)について

下市田支館の本年度最終事業の教養講座は講演会と講習会を隔年に行つて来ておりますが、本年は講習会

編集後記

二十一世紀幕明けの年を迎え、今世紀こそ平和で人の命が大切にされ、金や物を見直し、お互いに支え合つて、心休まる暮らしのできる時代になってほしいと思う。そうした私達の願いの

の年に当たり、その内容を検討した結果、一月二十八日に高寿会の皆さんの指導をお願いして薊玉や餅花などをみんなで作り、又お雑煮やおしるこを食べながら下市田の昔の小正月を思い出し、体験しようということになりました。その内容は次号に掲載します。

区報(館報)

編集委員会から

下市田区報(館報)編集委員会では毎年日帰りの研修旅行を行つて来ましたが、本年は趣向を変えて二月二日午後から出発して地元新聞社を見学した後、昼神温泉一泊、翌朝帰町の計画をしましたが、平日の昼間は参加出来ない人が多い為、新聞社見学を省き夕刻出発することになりました。有意義な研修を行い、次号で報告します。

中でIT革命と言われる時代を迎え、地球の裏側の情報でも瞬時に私達の所まで流れて来る。又流すこともできる。しかし、そのことが隣近所、その地域の情報や、支え合う心を妨げる結果となつては困る。又、地域の人達が綴り、伝え合つて来たものを大切にしたい。